

Requested Patent: JP2000188641A

Title: INTERNET TERMINAL PROVIDED WITH TELEPHONE CALL FUNCTIONS ;

Abstracted Patent: JP2000188641 ;

Publication Date: 2000-07-04 ;

Inventor(s): AKAMATSU KENJI ;

Applicant(s): FUNAI ELECTRIC CO LTD; FUNAI ELECTRIC ENG CO LTD ;

Application Number: JP19980363062 19981221 ;

Priority Number(s): ;

IPC Classification: H04M11/00 ; G06F13/00 ;

Equivalents:

ABSTRACT:

PROBLEM TO BE SOLVED: To allow an Internet terminal to simply make a phone call through a telephone line. SOLUTION: A user points out a telephone number on the menu of the Internet terminal 1 by using a mouse or the like. The connection to the Internet is disconnected, and then a modem 10 is used, and dialing is made by using a designated telephone number. When the dialing processing is finished, the line is switched to a telephone line 4. Thus, the Internet terminal 1 can simply make a phone call. Furthermore, the designated telephone number is stored in a telephone directory. A phone call is made to the telephone number stored in the telephone directory in accordance with an instruction. Thus, a phone call can be made simply.

(19)日本国特許庁 (J P)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11)特許出願公開番号

特開2000-188641

(P2000-188641A)

(43)公開日 平成12年7月4日(2000.7.4)

(51)IntCl. ⁷	識別記号	F I	テーマト* (参考)
H 0 4 M 11/00	3 0 3	H 0 4 M 11/00	3 0 3 5 B 0 8 9
G 0 6 F 13/00	3 5 4	G 0 6 F 13/00	3 5 4 A 5 K 1 0 1

審査請求 未請求 請求項の数2 O L (全 5 頁)

(21)出願番号 特願平10-363062

(22)出願日 平成10年12月21日(1998. 12. 21)

(71)出願人 000201113

船井電機株式会社

大阪府大東市中垣内7丁目7番1号

(71)出願人 390004983

株式会社船井電機研究所

東京都千代田区外神田4丁目11番5号

(72)発明者 赤松 健司

東京都千代田区外神田四丁目11番5号 株

式会社船井電機研究所内

Fターム(参考) 5B089 GA01 GA26 GB03 HA01 JA40

KA03 LB04 LB14

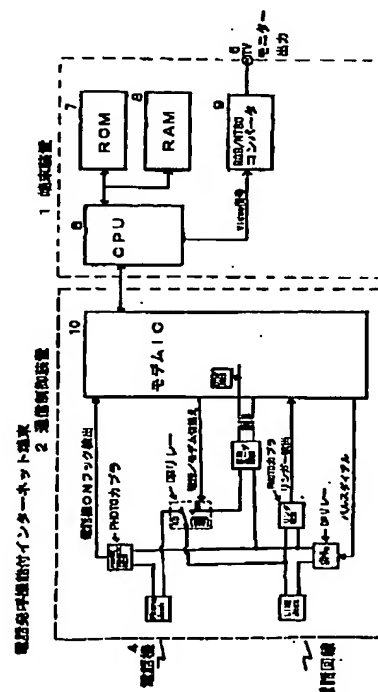
5K101 NN18 RR12

(54)【発明の名称】 電話発呼機能付インターネット端末

(57)【要約】

【課題】 インターネット端末によって電話回線の発呼を簡単に行なう。

【解決手段】 インターネット端末1の画面上の電話番号をマウスなどにより指定する。インターネットとの接続を切って、指定された電話番号でモデム10を使用して発呼を行なう。発呼処理が終了すると回線3を電話機4に切り換える。インターネット端末1から簡単に電話をかけることができる。また、指定された電話番号を電話帳に記憶する。指示に従って電話帳に記憶した電話番号に電話をかける。簡単に電話をかけることができる。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 インターネット端末の画面上の電話番号を指定する手段と、インターネットとの接続を切って、指定された電話番号でモデムを使用して発呼を行なう手段と、発呼処理が終了すると回線を電話機に切り換える手段とを具備することを特徴とする電話発呼機能付インターネット端末。

【請求項2】 指定された電話番号を電話帳に記憶する手段と、電話帳に記憶した電話番号を画面に表示する手段と、画面に表示された電話帳の電話番号を指定する手段と、指定された電話番号に電話をかける手段とを設けたことを特徴とする請求項1記載の電話発呼機能付インターネット端末。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、電話発呼機能付インターネット端末に関し、特に、ブラウザ画面から簡単な操作で電話をかけることができる電話発呼機能付インターネット端末に関する。

【0002】

【従来の技術】インターネットのブラウザ画面に電話番号が表示されて、その番号に電話をかける場合、電話機のダイヤルを操作して電話番号を入力する必要がある。さらに、電話回線が1つしかない場合は、インターネットとの接続を切ってから、電話機を使ってダイヤルしなければならない。そのため、電話をかける手間が煩雑になり、不便であった。このような手間を少しでも簡単にするために、従来の装置では、データ端末装置から電話をかけられるようにする工夫がなされている。

【0003】例えば、特開平4-180450号公報に開示されている「電話帳表示機能付端末装置」は、わずかの操作により通話相手を簡単に指定して、データの伝送に影響を与えることなく通話できるものである。図8に示すように、通話希望者がデータ端末装置の送受話器を持ち上げると、感知器がトリガー情報を出す。トリガー情報が来ると、主制御部は通話可能か否かを判断する。通話できるときは、電話帳画面が表示される。通話希望者は、電話番号または登録番号をキーボードで入力するだけで、自動的に通話のための回線接続が行なわれる。

【0004】また、インターネットのサーバから電話をかけることも提案されている。例えば、特開平10-65832号公報に開示されている「インターネットを利用するコンピュータ二局間の電気通信制御方法」は、受信側のパソコンがインターネットとの接続状態になくても、発信側のパソコンの接続要求を受信側に伝達して、簡便に両者を接続し、両者間交信を可能とするものである。発信側のパソコンが発した接続要求をインターネットと連携するサーバへ送信し、この接続要求を受けたサーバが受信側のパソコンに対して一般加入電話回線により通知する。受信側のパソコンはインターネットと接続して、発

信側のパソコンと受信側のパソコンがインターネットを介して交信する。

【0005】

【発明が解決しようとする課題】しかし、従来のデータ通信装置では、インターネット端末のブラウザ画面の電話番号に簡単に電話をかけることはできなかった。

【0006】本発明は、上記従来の問題を解決し、インターネット端末によって電話回線の発呼を簡単に行なうことができるようにすることを目的とする。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記の課題を解決するために、本発明では、電話発呼機能付インターネット端末を、インターネット端末の画面上の電話番号を指定する手段と、インターネットとの接続を切って、指定された電話番号でモデムを使用して発呼を行なう手段と、発呼処理が終了すると回線を電話機に切り換える手段とを具備する構成とした。このように構成したことにより、インターネット端末から簡単に電話をかけることができる。

【0008】また、指定された電話番号を電話帳に記憶する手段と、指示に従って電話帳に記憶した電話番号に電話をかける手段とを設けた構成とした。このように構成したことにより、簡単に電話をかけることができる。

【0009】

【発明の実施の形態】本発明の請求項1に記載した発明は、インターネット端末の画面上の電話番号を指定する手段と、インターネットとの接続を切って、指定された電話番号でモデムを使用して発呼を行なう手段と、発呼処理が終了すると回線を電話機に切り換える手段とを具備する電話発呼機能付インターネット端末であり、ブラウザ画面の電話番号により自動的に発呼するという作用を有する。

【0010】本発明の請求項2に記載した発明は、請求項1記載の電話発呼機能付インターネット端末において、指定された電話番号を電話帳に記憶する手段と、指示に従って電話帳に記憶した電話番号に電話をかける手段とを設けたものであり、電話帳の電話番号により自動的に発呼するという作用を有する。

【0011】以下、本発明の実施の形態について、図1～図7を参照しながら詳細に説明する。

【0012】（第1の実施の形態）本発明の第1の実施の形態は、インターネット端末の画面上の電話番号を指定する手段と、インターネットとの接続を切って、指定された電話番号でモデムを使用して発呼を行なう手段と、発呼処理が終了すると回線を電話機に切り換える手段とを具備する電話発呼機能付インターネット端末である。

【0013】図1は、本発明の第1の実施の形態の電話発呼機能付インターネット端末の機能ブロック図である。図1において、端末装置1は、電話回線を介してイ

インターネットに接続される端末装置である。通信制御装置2は、端末装置1と電話回線3をつなぐモデム装置である。電話機4は、通常の音声通話をする電話機である。モニター5は、表示装置である。CPU6は、端末装置1の中央制御装置であり、マイクロプロセッサと周辺制御回路などからできている。ROM7は、プログラムなどを格納してある固定記憶装置である。RAM8は、作業用の一時記憶装置である。RGB/NTSCコンバーター9は、CPU6から出力されるRGBビデオ信号をNTSC信号に変換する回路である。モデムIC10は、CPU1とRS232Cなどで接続され、データを電話回線で送るように変換したり、電話回線からの信号を復調する回路である。

【0014】図2は、第1の実施の形態の電話発呼機能付インターネット端末の構成外觀図である。端末装置1に、電話機4とモニター5と電話回線3が接続されている。キーボードやマウスやリモコンなどの入力装置は省略してある。

【0015】図3は、第1の実施の形態の電話発呼機能付インターネット端末の画面の図である。図3(a)は、電話番号が表示されたブラウザ画面である。図3(b)は、「受話器を上げて下さい」というメッセージを表示した画面である。

【0016】図4は、第1の実施の形態の電話発呼機能付インターネット端末の発呼手順のフローチャートである。

【0017】図5は、第1の実施の形態の電話発呼機能付インターネット端末の電話番号取り込み手順のフローチャートである。図5(a)は、選択ボタンにより電話番号を取り込む処理手順を示したものである。図5(b)は、マウスにより電話番号を選択する処理手順を示したものである。

【0018】上記のように構成された本発明の第1の実施の形態の電話発呼機能付インターネット端末の動作を説明する。図3(a)のように、インターネット端末のブラウザ画面上に電話番号が表示される。これをマウスなどで指定する。マウスの代わりにキーボードやライトペンなどでもよい。このとき、電話番号を電話帳に格納しておく。

【0019】電話番号を指定した後、画面上の発呼ボタンをクリックすると、図4のフローチャートに示すように、モデムが使用中か否かが調べる。端末装置が電話回線と接続状態にあれば、切断する。オフライン作業中であれば、電話回線とは接続されていないので、そのままとする。リレーを電話機に接続する。図3(b)のように、画面に「受話器を上げて下さい」というメッセージを表示する。電話機がオフフックとなるまで待つ。リレーをモデム側に戻す。指定された電話番号により発呼を行なう。電話番号の送出が終わると、リレーを電話機側に接続する。これで発呼操作を終了する。相手がでれ

ば、通話できる。

【0020】図5(a)のフローチャートに示すように、選択ボタン(マウスの左ボタンなど)が押されると、電話番号の選択を開始し、もう1度選択ボタンが押されると、電話番号の選択を終了する。開始位置の数字と終了位置の数字の間の数字が電話番号として選択される。

【0021】図5(b)のフローチャートに示すように、マウスのポインタの位置がHTMLテキストの数字か否かを判断して、選択中の数字を反転表示していく。先頭の数字から末尾の数字までドラッグして選択し、コピーアンドペーストにより、発呼電話番号領域に書き込むようにしてもよい。

【0022】上記のように、本発明の第1の実施の形態では、電話発呼機能付インターネット端末を、インターネット端末の画面上の電話番号を指定する手段と、インターネットとの接続を切つて、指定された電話番号でモデムを使用して発呼を行なう手段と、発呼処理が終了すると回線を電話機に切り換える手段とを設けた構成としたので、インターネット端末から簡単に電話をかけることができる。

【0023】(実施の形態2) 本発明の第2の実施形態は、画面の電話番号を電話帳に記憶しておき、電話帳に記憶した電話番号を表示して選択した番号に電話をかける電話発呼機能付インターネット端末である。

【0024】本発明の第2の実施形態の電話発呼機能付インターネット端末は、第1の実施形態と同じである。図6は、本発明の第2の実施形態の電話発呼機能付インターネット端末の電話番号を表示した画面である。

【0025】以下、本発明の第2の実施の形態の電話発呼機能付インターネット端末の動作を説明する。インターネット端末のブラウザ画面上の電話番号を、マウスなどで指定して、電話番号を電話帳に格納しておく。図6に示すように、電話帳を画面に表示して、1つの電話番号をポインタで選択する。図7のフローチャートに示すように、電話帳画面のポインタ位置の数字を発呼番号メモリに格納する。

【0026】電話番号を指定した後、画面上の発呼ボタンをクリックすると、モデムが使用中か否かが調べる。端末装置が電話回線と接続状態にあれば、切断し、オフライン作業中であれば、電話回線とは接続されていないので、リレーを電話機に接続する。画面に「受話器を上げて下さい」というメッセージを表示する。電話機がオフフックとなるまで待つ。リレーをモデム側に戻す。指定された電話番号により発呼を行なう。電話番号の送出が終わると、リレーを電話機側に接続する。これで発呼操作を終了する。相手がでれば、通話できる。

【0027】インターネット接続を切断して、オフライン作業をしながら、簡単に電話をかけることができる。電話をかけるために、インターネットの接続を切断した

り、通話終了後に再接続する手間を省くことができる。

【0028】上記のように、本発明の第2の実施形態では、電話発呼機能付インターネット端末を、指定された電話番号を電話帳に記憶する手段と、指示に従って電話帳に記憶した電話番号に電話をかける構成としたので、簡単に電話をかけることができる。

【0029】

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明では、電話発呼機能付インターネット端末を、インターネット端末の画面上の電話番号を指定する手段と、インターネットとの接続を切って、指定された電話番号でモデムを使用して発呼を行なう手段と、回線が接続されると回線を電話機に切り換える手段とを設けた構成としたので、インターネット端末から簡単に電話をかけることができるという効果が得られる。

【0030】また、指定された電話番号を電話帳に記憶する手段と、指示に従って電話帳に記憶した電話番号に電話をかける構成としたので、簡単に電話をかけることができるという効果が得られる。

【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の第1の実施の形態の電話発呼機能付インターネット端末の機能ブロック図、

【図2】第1の実施の形態の電話発呼機能付インターネット端末の外観図、

【図3】第1の実施の形態の電話発呼機能付インターネット端末の画面の図、

【図4】第1の実施の形態の電話発呼機能付インターネット端末の発呼手順のフローチャート、

【図5】第1の実施の形態の電話発呼機能付インターネット端末の電話番号取り込み手順のフローチャート、

【図6】本発明の第2の実施の形態の電話発呼機能付インターネット端末の電話番号表示画面の図、

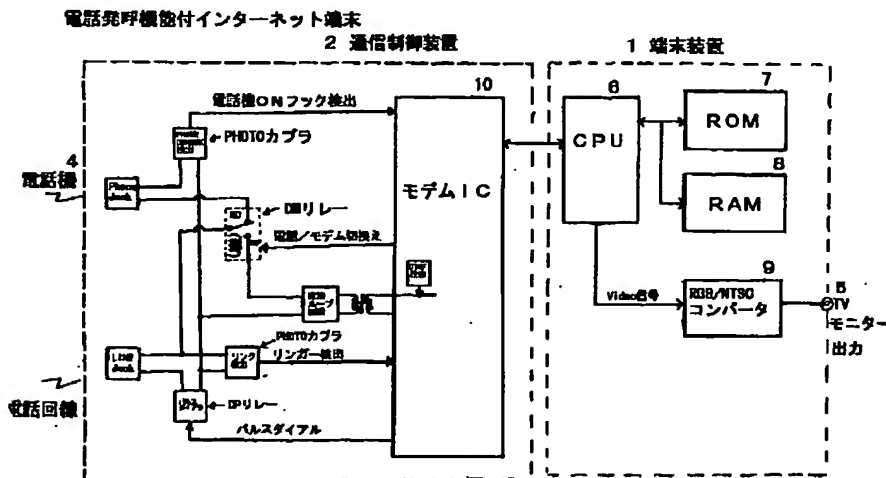
【図7】第2の実施の形態の電話発呼機能付インターネット端末の電話番号表示画面の番号を取り込むフローチャート、

【図8】従来の電話発呼機能付データ通信装置の機能ブロック図である。

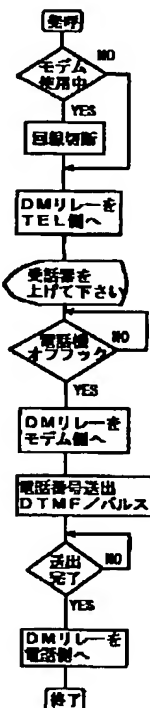
【符号の説明】

- 1 インターネット端末
- 2 通信制御装置
- 3 電話回線
- 4 電話機
- 5 モニター
- 6 CPU
- 7 ROM
- 8 RAM
- 9 RGB/NTSCコンバーター
- 10 モデムIC

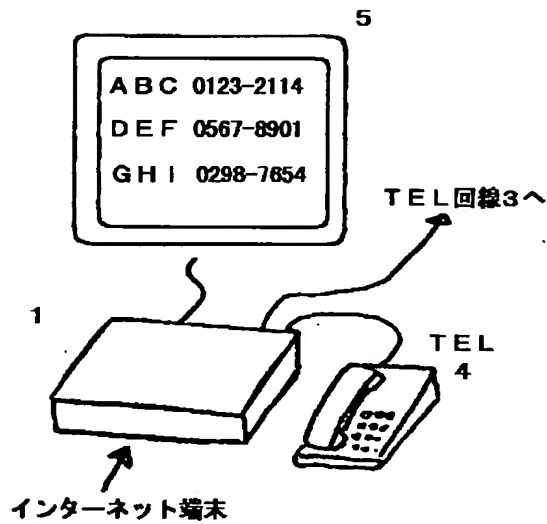
【図1】



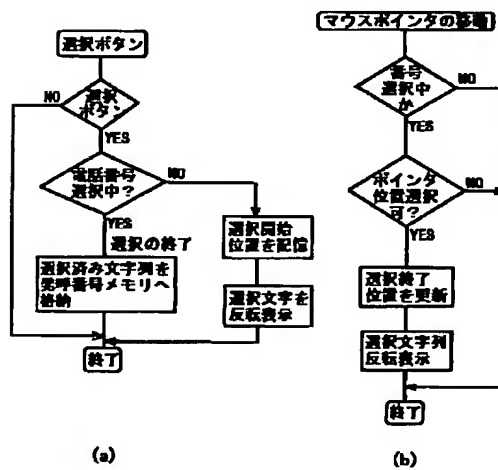
【図4】



【図2】



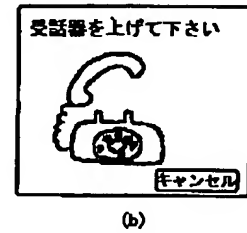
【図5】



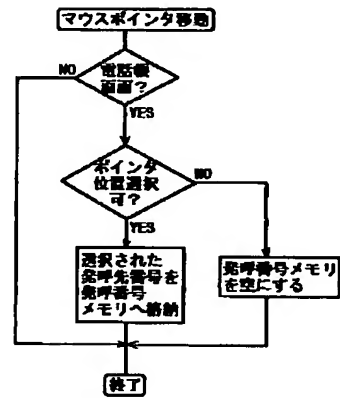
ブラウザ画面



【図3】



【図7】



【図6】

電話帳画面

電話帳	
いるは	0123-456-7890
にほ	0180-123-987
へと	033-5612-9128
ちり	0021-543-8371

戻る 発呼

【図8】

